

サントリープロダクツ株式会社、長野県信濃町

## バイオマスで環境ビジョンに一步近づく

サントリーが大阪でワインの製造・販売を開始したのは1899年のこと。現在、サントリーグループには270社が加盟しています。（欧州88社、アジア・オセアニア62社、日本68社、アメリカ52社）

多様な製品ポートフォリオには、淹れたてのお茶、ボトル入りの水、炭酸飲料、すぐに飲めるコーヒー、エナジードリンクのほか、高品質のスピリッツ、ビール、ワインなどが含まれます。

### 2050年までの環境ビジョン

サントリーグループは、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指しています。このため、2022年3月より、びんの洗浄・消毒に蒸気を使用する既存のガスボイラーをバイオマス蒸気ボイラーでサポートしています。

Schmid-UTSR-1200 は、一定かつ低排出の燃焼を実現し、1時間あたり1トンの蒸気を生成します。プロパンガスは価格が高いため、バイオマスへの切り替えも興味深いものです。サントリーは年間約500万円（年間約30,000ユーロ）を節約できます。

### バイオマスエネルギーの経験豊富なパートナー

株式会社巴商会は、110年以上の歴史を持つボイラーメーカーです。同社は長年にわたりバイオマスボイラーを販売しており、シュミット・エナジー・ソリューションズの長年のパートナーでもあります。巴商会が関わった多くのバイオマスプラントでの経験に基づき、サントリーはバイオマスで稼働する“蒸気センター”の導入を決定しました。

### このシステムでの確信

特に技術的な観点から見ると、シュミットの燃焼システムは最もフレキシブルで技術的に最も先進的なものの1つです。これは、サントリー工場のさらなる発展にとって非常に重要です。巴商会も、このシステムのような特別なソリューションの可能性を高く評価しています。このようにして、シュミットの燃焼システムと巴商会の熱交換装置を備えた“蒸気センター”は、サントリー工場に完璧に組み込まれ、生産のニーズに適合することができました。食品生産ではどこも蒸気の需要が急速に増加しており、特にバイオマスに関しては、工場を常に慎重に計画する必要があります。

## 親密で友好的なコラボレーション

「シュミット社とは定期的な情報交換と、技術的な質問に対する迅速な対応に感謝しています。これにより、当社は常にお客様に丁寧かつ的確で効率的なサービスを提供できます。アフターセールスチームは、最新のパラメータを提供し、最適な燃焼を実現します。私共の協力関係は非常に親密で友好的なものになっています。」

株式会社巴商会 技術顧問 岡本 利彦

## システムボックス:

ボイラータイプ:	トモエ製蒸気ボイラー付き可動火格子燃焼方式 UTSR-1200 visio
制御システム:	PersonalTouch visio
用途:	ボトルの浸漬と洗浄に1t/hの蒸気を使用
燃料:	ウッドチップ P45S
燃料使用量:	455kg/h
作動媒体:	蒸気
出力:	1200kW
サイロ:	燃料供給を制御するためのプレサイロ
排気ガス除塵:	マルチサイクロン
稼働開始:	2022年3月
クライアント:	サントリープロダクツ株式会社
設置場所:	長野県信濃町
プロジェクト企画:	株式会社巴商会